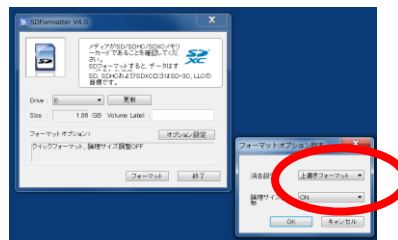


「Raspberry Pi (ラズベリーパイ)の開発環境作成手順」

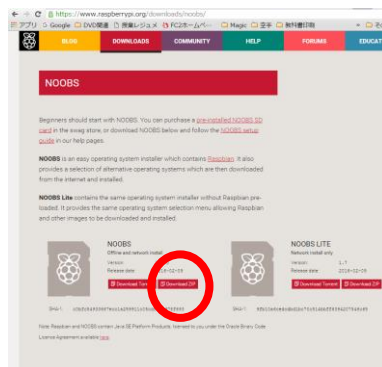
1. SD メモリをパソコンにマウントする
2. 下記 URL から SD フォーマッタをダウンロードし、パソコンにインストールする
https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/



3. SD フォーマッタを使って SD メモリをフォーマットする(8Gbytes 以上の SD メモリを使用すること. 下記オプション設定して”上書きフォーマットで ON”フォーマットする)



4. 下記 URL か NOOBS(NOOBS LITE ではない)をダウンロードする(2016年2月27日の時点で約 1.1Gbytes)
<https://www.raspberrypi.org/downloads/noobs/>



5. 圧縮ファイルを展開してすべて選択して SD メモリへコピーする
6. Raspberry Pi にモニタ(HDMI 接続), 日本語キーボード, 有線マウスを接続する
7. モニタ電源を入れてから, Raspberry Pi 本体の電源を入れる(USB マイクロ B 端子)
8. 言語(Language)を日本語に設定する. キーボードは連動して”jp”に設定される
9. 最上部の“Raspbian”を選択し, ”Install”をクリックする
10. “本当にイメージを書き込んでもよいですか・・・”と確認ダイアログが出るので“はい”をクリックする
11. “OS(es) installed Successfully”と表示されるので”OK”をクリック
ここで, 再起動される

11. ネットワーク設定をする。画面最上部右側のコンピュータが2台重なっているアイコンをクリックする
 - (1)有線 LAN の場合は、DHCP にて IP アドレスをもらう
 - (2)無線 LAN の場合は、それぞれのセキュリティ設定に従う（キーボードの配置は英語になっている）

12. GUI 最上部の Terminal (黒いアイコン) クリックし、ターミナルを起動する
13. 言語の設定をする（キーボードの配置は英語になっている）

```
lang=c sudo raspi-config
```

“Innternationalisation Options”を選択する

“Change Locale”を選択する

“ja_JP.UTF-8 UTF-8”をチェックしてデフォルト言語に設定する
(または設定されていることを確認する。その際は Cancel-ok で前メニューへ戻る)

“Innternationalisation Options”を選択する

“Change Timezone”を選択する

“Asia”-“Tokyo”を選択する

“Innternationalisation Options”を選択する

“Change Keyboard Layout”を選択する

“Generic 105-key (Intl) PC”になっている。“ok”をクリックする

“Japanese - Japanese (OADG 109A)”を選択する

“The default for the keyboard Layout”を選択する

“No compose key”を選択する

“No”を選択する

“Finish”を選択してターミナルに戻る
14. 日本語フォントのインストールをする

```
sudo apt-get install ttf-kochi-gothic xfonts-intl-japanese xfonts-intl-japanese-big xfonts-kaname
```
15. 日本語を入力するためのメソッドをインストールする

```
sudo apt-get install uim uim-anthy
```

“y/n”と聞かれるので，“y”+“Enter”
16. ターミナルにて日本語表示ができるメソッドをインストールする

```
sudo apt-get install jfbterm
```

“y/n”と聞かれるので，“y”+“Enter”

※今後、ターミナルにて日本語表示させたいときは“jfbterm”とコマンドを入れると表示される
17. ターミナルウィンドウを閉じる

```
exit
```
18. ログアウトして再びログインする
画面左上”Menu”をクリック—Shutdown...—Logout
ユーザ名: pi
パスワード: raspberry

— 以上 —